

ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型) 〈愛称 ニュージーボンド〉

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第72期(決算日2020年2月18日)

第73期(決算日2020年3月18日)

第74期(決算日2020年4月20日)

第75期(決算日2020年5月18日)

第76期(決算日2020年6月18日)

第77期(決算日2020年7月20日)

作成対象期間(2020年1月21日～2020年7月20日)

第77期末(2020年7月20日)	
基準価額	8,403円
純資産総額	4,474百万円
第72期～第77期	
騰落率	2.1%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型)」は、2020年7月20日に第77期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、ニュージーランドドル建ての公社債に実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<642266>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

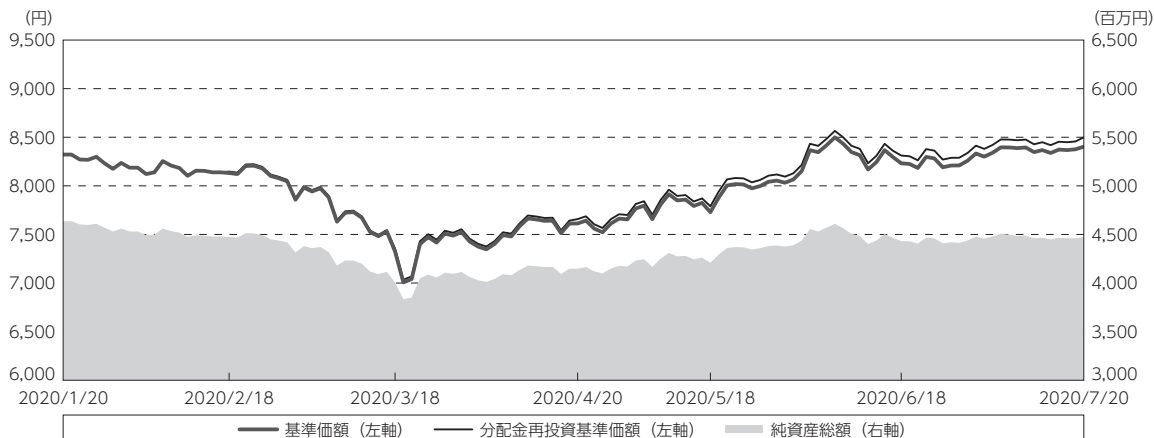
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2020年1月21日～2020年7月20日）



第72期首：8,322円

第77期末：8,403円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：2.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ニュージーランドドル建ての公社債に実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・ニュージーランドドルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2020年1月21日～2020年7月20日)

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	54	0.678	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.301)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.356)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.040	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.026)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	57	0.718	
作成期間の平均基準価額は、7,969円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

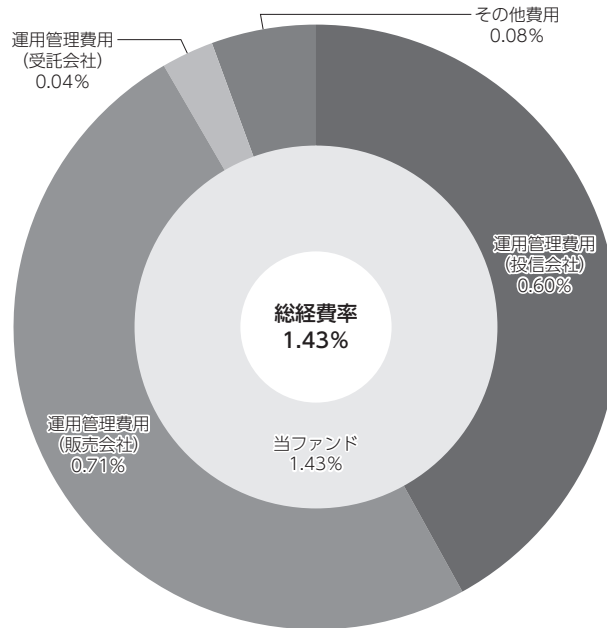
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.43%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

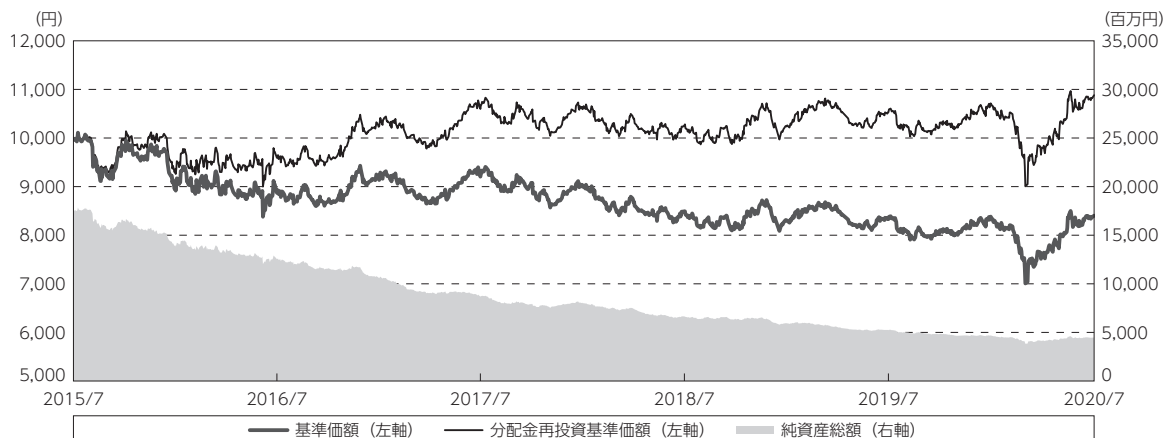
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年7月21日～2020年7月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年7月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年7月21日 決算日	2016年7月19日 決算日	2017年7月18日 決算日	2018年7月18日 決算日	2019年7月18日 決算日	2020年7月20日 決算日
基準価額 (円)	9,964	8,872	9,205	8,475	8,330	8,403
期間分配金合計(税込み) (円)	—	720	560	440	360	195
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.7	10.5	△ 3.2	2.6	3.4
純資産総額 (百万円)	17,465	12,535	8,681	6,630	5,231	4,474

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2020年1月21日～2020年7月20日)

(ニュージーランド債券市況)

ニュージーランドの債券市場では、期間の初めと比べて10年国債、5年国債利回りは低下しました。期間の初めから2020年5月上旬にかけては、世界経済の停滞懸念などから金融市場が不安定化し、投資家による保有債券の現金化のための売り圧力が強まったことや、ニュージーランド政府が新型コロナウイルス対策のための国債の発行増額を発表したことなどが利回りの上昇（債券価格は下落）要因となったものの、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からグローバル景気の減速懸念が強まり、国債への逃避需要が強まったことや、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が緊急利下げに踏み切ったこと、RBNZが量的緩和の拡大を示唆したことなどから、ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りは低下しました。5月下旬から期間末にかけては、欧米での経済活動再開の動きやワクチン開発の期待などを背景に株式市場が堅調となり、投資家のリスク回避姿勢が後退したことや、ニュージーランドの住宅関連の指標が良好だったこと、国債入札を控えて警戒感が高まったことなどから、ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りは上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2020年1月21日～2020年7月20日）

（当ファンド）

当ファンドは、「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（ニュージーランドドル建債券マザーファンド）

ポートフォリオでは、国債、地方債、政府保証債、国際機関債、社債などを中心に、B B B - 格相当以上のニュージーランドドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別しました。

期間中、ニュージーランドドルの組入比率を高位に保ちました。債券種別では、国債と比較して投資妙味の高いニュージーランドドル建ての社債などの組入比率を高位に保ちました。ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）は、中央銀行による量的緩和が継続しニュージーランドドル建て債券の利回りに低下圧力がかけられ続けるとの見通しから、長期化を維持しデュレーションを横ばいとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2020年1月21日～2020年7月20日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2020年1月21日～ 2020年2月18日	2020年2月19日～ 2020年3月18日	2020年3月19日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月18日	2020年6月19日～ 2020年7月20日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
（対基準価額比率）	0.184%	0.204%	0.197%	0.194%	0.182%	0.178%
当期の収益	10	8	15	15	15	15
当期の収益以外	4	6	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	58	52	56	57	61	65

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（ニュージーランドドル建債券マザーファンド）

ニュージーランド経済については、サービス業を中心に新型コロナウイルスの影響を受けたものの、ウイルスの封じ込めに成功し回復が早かったことに加え、政府の景気対策による下支えが継続することから、底堅く推移する見通しです。ニュージーランドドルはアメリカドルを除く主要な貿易相手国通貨に対して、堅調に推移するものと考えています。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大収束は見通せないものの、政府による継続した景気対策が功を奏し、市場は安定を取り戻しました。今後はワクチンの開発などのポジティブニュースと悪化を続ける米中の通商政策問題などのネガティブニュースでボラティリティ（変動性）が上昇する局面は予想されるものの、引き続き世界経済は、株式市場を中心とした過熱感と実体経済の減速感の間でのバランスや過剰流動性のなか、緩やかな拡大を継続すると想定します。

このような局面のなか、デュレーションを調整し金利低下局面ではキャピタルゲインを獲得しつつ、妙味のある利回り水準の債券については積極的に購入や銘柄の入替えを行ないポートフォリオの利回り水準を引き上げていく方針です。

ニュージーランド国債のイールドカーブ（利回り曲線）の形状や、国債と州債の спреッド（利回り格差）、事業債に関してはその信用力と国債との спреッドなどを分析したうえで、高い収益の獲得をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

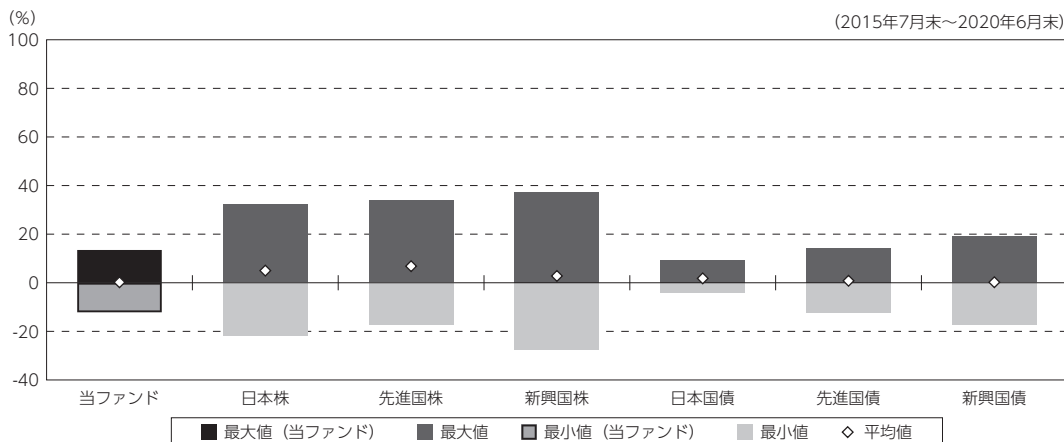
2020年1月21日から2020年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年2月18日から2029年1月18日までです。	
運用方針	主として「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ニュージーランド公社債 ファンド（毎月分配型）	「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ニュージーランドドル 建債券マザーファンド	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	主として、ニュージーランドドル建ての公社債に実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。マザーファンドを通じて、ニュージーランドドル建ての国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債などに投資を行ないます。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.5	32.2	34.1	37.2	9.3	14.0	19.3
最小値	△ 12.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.2	5.0	6.8	2.8	1.8	0.8	0.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年7月から2020年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年7月20日現在)

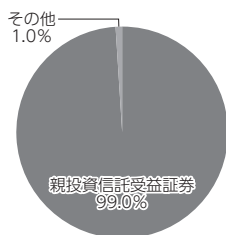
○組入上位ファンド

銘柄名	第77期末
ニュージーランドドル建債券マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

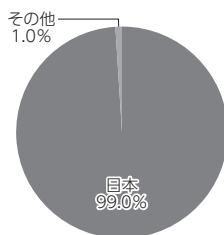
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

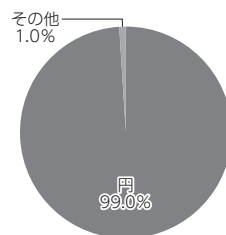
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

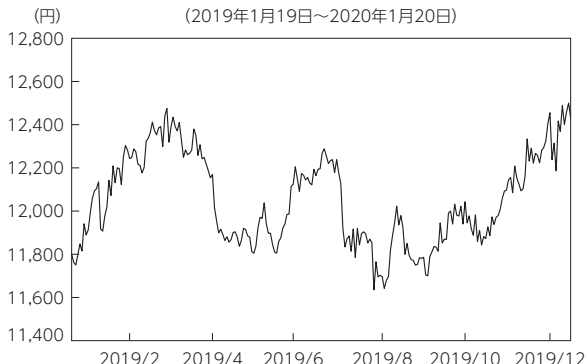
項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2020年2月18日	2020年3月18日	2020年4月20日	2020年5月18日	2020年6月18日	2020年7月20日
純資産総額	4,474,263,270円	4,005,018,813円	4,147,845,717円	4,208,838,587円	4,430,992,906円	4,474,385,288円
受益権総口数	5,501,754,424口	5,467,536,648口	5,448,686,906口	5,445,834,873口	5,382,943,852口	5,324,488,393口
1万口当たり基準価額	8,132円	7,325円	7,613円	7,729円	8,232円	8,403円

(注) 当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は40,250,681円、同解約元本額は284,639,075円です。

組入上位ファンドの概要

ニュージーランドドル建債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年1月19日～2020年1月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.024 (0.024) (0.000)
合計	3	0.024

期中の平均基準価額は、12,081円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

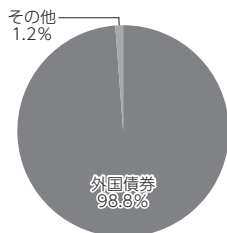
【組入上位10銘柄】

(2020年1月20日現在)

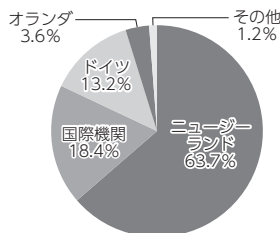
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1 AUCKLAND COUNCIL 5.806% 2024/3/25	地方債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	16.0
2 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 4.5% 2027/4/15	地方債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	13.4
3 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 3.5% 2033/4/14	地方債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	11.4
4 AFRICAN DEVELOPMENT BANK 0.5% 2021/9/21	特殊債券	ニュージーランドドル	国際機関	9.7
5 L-BANK BW FOERDERBANK 4% 2027/4/15	特殊債券	ニュージーランドドル	ドイツ	7.8
6 LANDWIRTSCH. RENTENBANK 5.375% 2024/4/23	特殊債券	ニュージーランドドル	ドイツ	5.4
7 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 1.5% 2029/4/20	地方債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	5.4
8 INTL FINANCE CORP 3.75% 2027/8/9	特殊債券	ニュージーランドドル	国際機関	3.8
9 NEW ZEALAND GOVERNMENT 2.75% 2037/4/15	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.8
10 HOUSING NEW ZEALAND LTD 3.42% 2028/10/18	特殊債券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.8
組入銘柄数	16銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

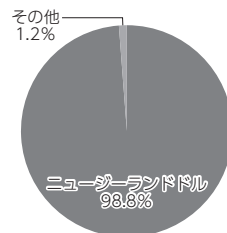
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。